

まちづくりの目標	3	みどりうるおう環境を大切にすまち
政策	1	地球にやさしく美しい住みよいまちにします

施策	1	環境への負荷が少ないまちにします	担当部(統括部)	生活環境部
----	---	------------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	市民、事業者の環境保全や省エネルギー意識が向上しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	公共施設からのCO2排出量の削減目標を達成しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	市域からのCO2排出量が減少しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
環境家計簿の参加件数	目標	—	—	—	500件	550件	650件	700件	750件	800件	1,000件
	実績	404件	450件	343件	451件	942件					
公共施設からのCO2排出量(平成17年度比)	目標	—	—	—	6.0%削減	7.0%削減	8.0%削減	9.0%削減	10.0%削減	11.0%削減	11.0%削減
	実績	4.0%削減	4.6%削減	9.3%削減	11%削減	8.4%削減					
大気汚染常時監視測定局における二酸化窒素濃度	目標	—	—	—	0.050ppm	0.050ppm	0.050ppm	0.050ppm	0.050ppm	0.050ppm	0.050ppm
	実績	0.052ppm	0.053ppm	0.048ppm	0.046ppm	集計中					
河川・水路のBODに係る環境基準等の達成率	目標	—	—	—	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	88.9%	100.0%	66.7%	100%	77.8%					
一般環境騒音・道路騒音・新幹線騒音に係る環境基準の達成率	目標	—	—	—	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	65.9%	65.9%	70.5%	70.5%	65.9%					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎協働による環境活動の推進	平成26年度事業費計 2,634千円
---------------	-----------------------

環境団体やNPOと連携し、様々なイベントなどにより環境意識の高揚を図ります。また、家庭における省エネルギー対策の普及について啓発を行います。

平成26年度事業 ◇環境教育学習事業254千円・◇温暖化対策事業2,380千円(環境政策課)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	第4期実施計画期間		後期終了年度
				平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	環境フェスティバル等イベントを実施	環境フェスティバル等イベントを実施	環境フェスティバル等イベントを実施	環境フェスティバル等イベントを実施	環境フェスティバル等イベントを実施	環境フェスティバル等イベントを実施
取組実績	環境フェスティバルを開催し、約750人の参加者があった。					
成果	市民の環境意識の高揚に繋がった。					
次年度課題	継続実施していく必要がある。					
計画	環境活動に取り組む市民の交流会の開催	環境活動に取り組む市民の交流会の開催	環境活動に取り組む市民の交流会の開催	環境活動に取り組む市民の交流会の開催	環境活動に取り組む市民の交流会の開催	環境活動に取り組む市民の交流会の開催
取組実績	Eライフ講座、エコアクション交流会を計5回開催し、のべ89人の参加者があった。					
成果	環境に関心のある市民同士の交流が図られたと同時に、市民の環境意識の高揚に繋がった。					
次年度課題	継続実施していく必要がある。					
計画	環境関係学習会を開催	環境関係学習会を開催	環境関係学習会を開催	環境関係学習会を開催	環境関係学習会を開催	環境関係学習会を開催
取組実績	水辺ウォッチングなど環境関係学習会を計3回開催し、のべ61人の参加者があった。					
成果	市民の環境意識の高揚に繋がった。					
次年度課題	効率的開催を検討する必要がある。					
計画	環境家計簿の参加促進	環境家計簿の参加促進	環境家計簿の参加促進	環境家計簿の参加促進	環境家計簿の参加促進	環境家計簿の参加促進
取組実績	環境家計簿に942世帯の参加があった。					
成果	参加市民の各家庭における環境意識の醸成を図ることができた。					
次年度課題	環境家計簿事業への参加者拡大につながる取組みを検討・実施していく必要がある。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	グリーンカーテン普及のため、ゴーヤ苗を市民に配布	グリーンカーテン普及のため、ゴーヤ苗を市民に配布	グリーンカーテン普及のため、ゴーヤ苗を市民に配布	グリーンカーテン普及のため、ゴーヤ苗を市民に配布	グリーンカーテン普及のため、ゴーヤ苗を市民に配布	グリーンカーテン普及のため、ゴーヤ苗を市民に配布
取組実績	市民や公共施設等に2,000株のゴーヤの苗を配布し、グリーンカーテンの育成を呼び掛けた。					
成果	市民のグリーンカーテンに対する関心が深まるとともに、環境意識の醸成を図ることができた。					
次年度課題	継続実施していく必要がある。					
計画	ドライブシミュレーターによるエコドライブの普及	ドライブシミュレーターによるエコドライブの普及	ドライブシミュレーターによるエコドライブの普及	ドライブシミュレーターによるエコドライブの普及	ドライブシミュレーターによるエコドライブの普及	ドライブシミュレーターによるエコドライブの普及
取組実績	環境フェスティバルにおいて、ドライブシミュレーターによるエコドライブ体験を実施した。					
成果	市民のエコドライブについての関心が深まった。					
次年度課題	継続実施していく必要がある。					

◎環境保全への取組みの促進	平成26年度事業費計 3,976千円
---------------	-----------------------

環境面における社会的責任(CSR)を意識した事業活動や、市民生活における環境保全への取組みを促進します。

平成26年度事業 ◇環境騒音・振動調査事業1,358千円・◇環境美化事業238千円・◇温暖化対策事業2,380千円(環境政策課)

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	事業者へ騒音計等測定機器の貸し出しを実施	事業者へ騒音計等測定機器の貸し出しを実施	事業者へ騒音計等測定機器の貸し出しを実施	事業者へ騒音計等測定機器の貸し出しを実施	事業者へ騒音計等測定機器の貸し出しを実施	事業者へ騒音計等測定機器の貸し出しを実施
取組実績	5事業所へ測定機器の貸し出しを実施した。					
成果	事業者の環境保全活動を促進することができた。					
次年度課題	継続して実施していく必要がある。					
計画	各種団体への美化清掃用具の貸し出し及びPRを実施	各種団体への美化清掃用具の貸し出し及びPRを実施	各種団体への美化清掃用具の貸し出し及びPRを実施	各種団体への美化清掃用具の貸し出し及びPRを実施	各種団体への美化清掃用具の貸し出し及びPRを実施	各種団体への美化清掃用具の貸し出し及びPRを実施
取組実績	2団体に美化清掃用具の貸し出しを実施し、PR方法について検討を行った。					
成果	団体による自主的な美化活動が推進された。					
次年度課題	美化活動への支援についてのPRを引き続き検討・実施していく必要がある。					
計画	地球温暖化防止地域計画の進行状況の把握	地球温暖化防止地域計画の進行状況の把握	地球温暖化防止地域計画の進行状況の把握	地球温暖化防止地域計画の中間評価・見直しの検討	地球温暖化防止地域計画の進行状況の把握	地球温暖化防止地域計画の評価
取組実績	環境家計簿説明会やイベント等において、地球温暖化防止地域計画の周知・PRを行うとともに、進行状況の把握方法について検討を行った。					
成果	市民の、CO2削減につながる省エネに対する関心が深まった。					
次年度課題	地球温暖化防止地域計画の進行状況を把握していく必要がある。					

○公害の防止						平成26年度事業費計 2,254千円
水質、二酸化窒素、環境騒音などの現況を確認し、大阪府と連携を図りながら、事業所などへの調査、監視、指導を強化します。						
平成26年度事業	◇NO2・酸性雨調査事業381千円・◇環境騒音・振動調査事業1,358千円・◇河川等の水質調査事業515千円・◇水質汚濁防止指導事業0円・◇大気汚染防止指導事業0円・◇騒音・振動防止指導事業0円(環境政策課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	市域の環境の現況を確認するため測定・調査を実施	市域の環境の現況を確認するため測定・調査を実施	市域の環境の現況を確認するため測定・調査を実施	市域の環境の現況を確認するため測定・調査を実施	市域の環境の現況を確認するため測定・調査を実施	市域の環境の現況を確認するため測定・調査を実施
取組実績	河川、水路の水質調査(9カ所)、大気中の二酸化窒素濃度の簡易測定(19カ所)、道路騒音測定(3カ所)、一般環境騒音測定(18カ所)、新幹線騒音・振動調査(2カ所)を実施した。					
成果	市内環境の現況把握を行うことができた。					
次年度課題	環境の現状を把握するため、調査を継続実施していく必要がある。					
計画	大阪府と連携し事業所への立入調査を実施	大阪府と連携し事業所への立入調査を実施	大阪府と連携し事業所への立入調査を実施	大阪府と連携し事業所への立入調査を実施	大阪府と連携し事業所への立入調査を実施	大阪府と連携し事業所への立入調査を実施
取組実績	大阪府と連携し、延べ87事業所に立入調査を実施した。					
成果	事業所の環境への取組みを確認するとともに、指導による啓発を行うことができた。					
次年度課題	継続して立入調査を実施していく必要がある。					

◎環境配慮の率先実行						平成26年度事業費計 292,917千円
市役所庁舎など公共施設の省資源・省エネルギー対策や新エネルギーの導入、環境にやさしい公用車・物品などの購入に努めます。また、職員の環境意識を高め、環境に配慮した行動を促進します。						
平成26年度事業	◇温暖化対策事業2,380千円(環境政策課) ◇庁舎管理事業270,980千円・電気自動車配備事業19,557千円(防災管財課)					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	後期終了年度 平成32年度
計画	せつつエコオフィス推進プログラムⅢの進行状況の把握	せつつエコオフィス推進プログラムⅢの進行状況の把握	せつつエコオフィス推進プログラムⅢの進行状況の把握	せつつエコオフィス推進プログラムⅢの評価	新せつつエコオフィス推進プログラムの策定	新せつつエコオフィス推進プログラムの評価
取組実績	せつつエコオフィス推進プログラムⅢに基づき公用車の燃費管理等を行った。					
成果	集計中					
次年度課題	「せつつエコオフィス推進プログラムⅢ」の進行状況を把握していく必要がある。					
計画	市庁舎電気使用量削減の取組み	市庁舎電気使用量削減の取組みの継続	より一層の節電のためには老朽化している空調設備をはじめとする電気設備の更新が不可欠であり、効果的な工法等の検討と事業効果の試算を行う。	空調機器等の更新に併せて庁舎の総合的な再整備を実施することで、庁舎全体のエネルギー使用量を抜本的に削減し、CO2の排出量と、庁舎の運営コストを大幅に改善するための事業を計画する。	事業の実施に向けての取組みを行う。	市庁舎電気使用量削減の取組み
取組実績	スーパーセツ電隊を結成することで対策を継続し、夏季6～9月で対基準年(平成22年度)比11.1%の電気使用量の削減を行った。					
成果	職員の節電に対する意識が向上し、積極的に節約に取り組むようになった。					
次年度課題	削減した状態を維持できるように継続した取組みをする必要がある。					

	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	公用車の電気自動車の試験導入	電気自動車導入によるCO2削減効果を検証する。	公用車の運用状況を把握し、適切な公用車の車種や車両数を検証する。	カーシェアリングなど公用車の運用方法の検討を行い必要数の精査と試験的運用を実施する。	電気自動車への更新の可能性や手法を検討する。	CO2削減車を評価
取組実績	電気自動車「リーフ」を導入し運用を行った。					
成果	ガソリンの使用量を削減と環境に配慮した取り組みを庁内外にアピールすることが出来た。					
次年度課題	電気自動車の走行可能距離及び充電施設の整備状況並びに車種の展開状況を把握し、運用の拡大が可能かどうか検討することが必要。					
計画	一部施設での試験導入	節電効果と品質の確保を検証	より節電を進めるため、省エネ器具への転換が不可欠であり、空調設備等の電気設備全般の更新を検討する中で、効果的な工法等の検討と事業効果の試算を行う。	空調機器等の更新など総合的な電気設備器具の更新を含め、庁舎の総合的な再整備を実施することで、庁舎全体のエネルギー使用量を抜本的に削減し、CO2の排出量と、庁舎の運営コストを大幅に改善するための事業を計画する。	事業の実施に向けての取り組みを行う。	節電設備の評価
取組実績	LEDの導入について費用の試算を行う。					
成果	LEDの導入にかかるコストを概ね把握できた。					
次年度課題	費用対効果について導入効果が期待できる施設の選定。					
計画	庁舎における太陽光発電施設の検討	他市の導入事例を研究	市庁舎における構造的な導入可能性を判断し、自然エネルギー発電事業者からの電力調達なども含め、化石燃料や原子力に依存しないエネルギー調達の方法も併せて検討する。	電気設備器具の更新改修と併せて、太陽光発電施設による自家発電や、自然エネルギー事業者からの電力購入などを総合的に検討する。	事業の実施に向けての取り組みを行う。	太陽光発電の設置と評価
取組実績	設置できる場所の検討					
成果	建物の耐震性への影響など問題点の抽出が出来た。					
次年度課題	導入効果について費用面や発電面など総合的に研究する。					
計画	自治会が管理する防犯灯を順次LED化	市内全ての防犯灯をLED灯に移行	—	—	—	
取組実績	各自治会からの申請に基づき39灯の防犯灯新規設置及び31灯の照度アップ(20W→32W)を、すべてLED灯の器具取替で行った。					
成果	一定の省エネルギー及び節電効果が見られた。					
次年度課題	市内全防犯灯灯具を環境にやさしく、長寿命のLED化への移行と、自治会から市管理への移行を検討。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

摂津エコアクションの促進		平成26年度事業費計				
		2,380千円				
家庭における環境家計簿など、省エネルギーへの取組みを促進します。						
平成26年度事業 ◇温暖化対策事業2,380千円(環境政策課)						
	第4期実施計画期間					後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	環境家計簿の取組み成果をPRするとともに、せつつエコポイント制度等を利用し環境家計簿参加者を拡大	環境家計簿の取組み成果をPRするとともに、せつつエコポイント制度等を利用し環境家計簿参加者を拡大	環境家計簿の取組み成果をPRするとともに、せつつエコポイント制度等を利用し環境家計簿参加者を拡大	環境家計簿の取組み成果をPRするとともに、せつつエコポイント制度等を利用し環境家計簿参加者を拡大	環境家計簿の取組み成果をPRするとともに、せつつエコポイント制度等を利用し環境家計簿参加者を拡大	環境家計簿の取組み成果をPRするとともに、せつつエコポイント制度等を利用し環境家計簿参加者を拡大
取組実績	環境家計簿に942世帯の参加があった。					
成果	参加市民の各家庭における環境意識の醸成を図ることができた。					
次年度課題	環境家計簿事業への参加者拡大につながる取組みを検討・実施していく必要がある。					

廃食油の回収						平成26年度事業費計 254千円
市内の各公民館などで家庭から出た廃食油を回収し、粉せっけんにリサイクルして回収に協力いただいた市民に無料で配布する活動を推進します。						
平成26年度事業	◇環境教育学習事業254千円(環境政策課)					
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	家庭から出た廃食油を回収し、粉せっけんにリサイクル。また、リサイクル石けんを各種イベントでPR。	家庭から出た廃食油を回収し、粉せっけんにリサイクル。また、リサイクル石けんを各種イベントでPR。	家庭から出た廃食油を回収し、粉せっけんにリサイクル。また、リサイクル石けんを各種イベントでPR。	家庭から出た廃食油を回収し、粉せっけんにリサイクル。また、リサイクル石けんを各種イベントでPR。	家庭から出た廃食油を回収し、粉せっけんにリサイクル。また、リサイクル石けんを各種イベントでPR。	家庭から出た廃食油を回収し、粉せっけんにリサイクル。また、リサイクル石けんを各種イベントでPR。
取組実績	市内公民館6か所で廃食油の回収・リサイクル石鹸の配布とPRを実施した。					
成果	廃食油1,245リットルを回収し、環境負荷を軽減するとともに、環境の取組みに対する意識向上を図ることができた。					
次年度課題	身近な環境への取り組みとして廃食油の回収を継続してPRしていく必要がある。					

エコ通勤の促進						平成26年度事業費計 2,380千円
本市はエコ通勤優良事業所として毎月20日をノーマイカーデーとし、マイカー通勤から公共交通機関、自転車、徒歩などでの通勤に転換することを促進します。						
平成26年度事業	◇温暖化対策事業2,380千円(環境政策課)					
			第4期実施計画期間			後期終了年度
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
計画	ノーマイカーデーの継続実施と、マイカー通勤から公共交通機関、自転車等での通勤への転換を促進	ノーマイカーデーの継続実施と、マイカー通勤から公共交通機関、自転車等での通勤への転換について検討	ノーマイカーデーの継続実施と、マイカー通勤から公共交通機関、自転車等での通勤への転換について検討	ノーマイカーデーの継続実施と、マイカー通勤から公共交通機関、自転車等での通勤への転換について検討	ノーマイカーデーの継続実施と、マイカー通勤から公共交通機関、自転車等での通勤への転換について検討	ノーマイカーデーの継続実施と、マイカー通勤から公共交通機関、自転車等での通勤への転換について検討
取組実績	エコ通勤優良事業所の登録更新を行い、毎月1回ノーマイカーデーを実施した。					
成果	ノーマイカーデーの達成率がほぼ100%となり、エコ通勤の促進を図ることができた。					
次年度課題	継続して、ノーマイカーデーを実施していく必要がある。					